

仁淀川地域の目指すべき姿（産業振興の方向性）

農業分野・・・立地条件を活かし、野菜、花き、果樹等の施設園芸を主体とした基幹品目の振興をはじめ、高糖度トマトの生産・出荷体制の強化を図る。また、「仁淀川流域茶」の販売の拡大や、ミシマサイコ、サンショウ等の薬用作物の生産の拡大、土佐文旦と新高梨の新たな販路の開拓や加工品の開発などに取り組む。

主な指標及び目標

Table with 4 columns: 項目, 計画策定時, 目標, 現状. Rows include sales of Nira, high-sugar tomatoes, medicinal crops, timber, water, and tourism.

取り組みの成果と今後の方向性

1. 取組の成果
全38プランについて、実行支援チームを組織し、支援、進捗管理を実施
目標の達成は様々であるが、これまでの取組みにより各分野で概ね成果の兆しが見られる状況
【H21年度】
・総合補助金の導入10件、産業振興推進アドバイザーの派遣6件
【H22年度】
・総合補助金の導入（継続事業） <4件>
\* 「仁淀川流域茶のブランド化を主体とした茶の振興」、「力強い高糖度トマト産地の確立」、「うるめのブランド化」、「越知町の総合的な観光推進と地場産品の販売促進」

14. 間伐の推進【仁淀川地域全域】

取組の内容: 「森の工場」を核にして、林業事業体や担い手の育成などに取り組み、間伐の推進と素材の増産を図る。
主な成果: 森の工場の増加 (H20→H22) 6工場
今後の方向性: 森の工場の拡大による集約化の促進と生産基盤の整備

10. 薬用作物の産地拡大による所得の向上【仁淀川町、佐川町、越知町、日高村】

取組の内容: 薬用作物の産地の育成
今後の方向性: 安定生産と収穫労力の確保
主な成果: ミシマサイコ作付面積 38ha (H19) → 47ha (H22)
サンショウ作付面積 12ha (H19) → 59ha (H22)
\* サンショウはH23目標の40ha達成

9. 仁淀川流域茶のブランド化を主体とした茶の振興【仁淀川町、越知町、佐川町、日高村、いの町】

取組の内容: 仁淀川流域茶の統一したブランドの確立、茶を利用した加工品の開発
主な成果: 販促資材の作成、販促イベントへの参加
仕上茶小売販売額の増加 39百万円 (H19) → 65百万円 (H22)
仕上茶販売量の増加 (仕上茶/茶全体) 7% (H19) → 11% (H22)
今後の方向性: 生産者のプロモーション能力の向上、マーケティング活動や商品開発への取り組み

37. 越知町の総合的な観光推進と地場産品の販売促進【越知町】

取組の内容: 観光物産館おち駅の整備による、地場産品の販売促進と、越知町の観光情報を発信する拠点づくり
主な成果: 越知町観光物産館おち駅オープン (H22.4.8)
JA越知産市の売上拡大 30百万円 (H21) → 56百万円 (H22)
雇用増 (2名)
今後の方向性: 観光、物産の情報発信の充実

1. 地域の基幹品目及び推進品目等の産地の維持・発展【土佐市、いの町】

取組の内容: 生産性及び品質の向上を図り、安全・安心を求める消費者ニーズに対応した農産物の推進
今後の方向性: 販売促進活動による産地PRの実践、生産技術向上による出荷量の拡大
主な成果: ニラの販売額 1.2億円 (H19) → 1.9億円 (H22)
生姜の販売額 3.4億円 (H19) → 5.6億円 (H22)
土佐文旦の販売額 1.7億円 (H19) → 1.8億円 (H22)

7. 本川キジの販路確保と新たな商品開発【いの町】

取組の内容: 本川地区の特産である「本川キジ」の販路拡大及び新商品の開発に取り組み、中山間の産業としての定着
主な成果: 首都圏をターゲットとした市場調査の実施、東京都内のレストランとのテスト販売、商談会への参加
売上高 21年度 6,235千円 → 22年度 11,148千円
今後の方向性: 顧客ニーズに合った商品作り、大口顧客の開拓

30. 「グリーンパークほどの」の多面的な活用【いの町】

取組の内容: 環境学習施設として、小・中学校の環境教育の場や企業研修の場としての利用促進
主な成果: 「グリーンパークほどの」の利用者数の増加
体験プログラム H21 → H22 550名の増加
宿泊者数 1,455人 (H20) → 1,607人 (H22)
今後の方向性: 町内教育機関との具体的活用策の検討、企業間交流研修について可能性検討、体験プログメニューの充実

11. 力強い高糖度トマト産地の確立【仁淀川町、佐川町、日高村】

取組の内容: 高糖度トマトの産地間競争力の強化
主な成果: トマト選果システムの改修 → 精度10度以上のトマト(ブランド化)
トレーサビリティシステム導入による差別化
市場単価の上昇 (H19→H22) 726.1円/kg → 785.7円/kg
今後の方向性: 販売促進活動の充実

18. うるめのブランド化【土佐市】

取組の内容: 宇佐うるめの加工品の開発、流通・供給体制の確立、販路拡大
主な成果: 売上高の増加 1,407千円 → 5,493千円
原材料仕入れ量 2.3t/年 → 6.2t/年
商談会参加回数 3回 → 3回
今後の方向性: 販路拡大・新商品開発への取組み

23. 売れる商品づくりによる地産外販の推進【佐川町】

取組の内容: 地元産品による売れる商品づくり
主な成果: 「さかわの地乳」の加工品開発 4品
生乳の地元出荷量の増加
今後の方向性: 「さかわの地乳」の加工品開発・商品化の拡大への取組み

